

研修企画書

作成 2022年2月7日

企画No.

21-308

ページ

1/2

提出先			様
研修テーマ	看護補助者と看護師の協働のためのリフレクション		対象・人数
日時	時間数	テキスト・資料	
	60分		
会場	Zoom 活用 MTG		
担当講師	永井 則子 ・ 他2名		
研修の狙い <ol style="list-style-type: none">1. 看護師と看護補助者の責任範囲を合理的に判断する価値基準を身に着ける2. 看護師と看護補助者がお互いの役割機能・能力を認め、協働関係を構築する			
研修の目標 <ol style="list-style-type: none">1. 看護補助者と看護師が症例を深く観察し、お互いの役割、考え方を共有する2. 未来に向けた多職種協働の為に出来ることを明確にする			
研修の方法 <ol style="list-style-type: none">1. 看護補助者が予め挙げた症例をリフレクションする2. 看護師 1~2名、看護補助者 3~4名/グループで実施する3. 1~2例/時間とする			
ご準備頂くもの <ul style="list-style-type: none">• 水性マジック … 1セット/グループ• 付箋 (75×75) … 10枚/グループ• プロジェクターおよびPC			

有限会社 ビジネスブレン
TEL 044-865-3081

企画

永井

研修スケジュール

企画No. 21-308	ページ 2 / 2
-----------------	--------------

時間	カリキュラム	主な内容
00:00	<p>開講</p> <p>○研修の狙い (講義・ワークショップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の目的と ・看護補助者へのタスクシフトの歴史 ・看護師と看護補助者の協働と課題 <p>○事例から多職種協働の検証 (講義・リフレクション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・症例のグループリフレクション ・捉え方の相違を活かすには ・未来に向けた多職種協働について 	<p>*学習の目的と進め方を確認する。</p> <p>*看護補助者へのタスクシフトの歴史を確認しその必要性を確認する。と同時に他職種協働の課題を再確認する。</p> <p>*症例を深く観察し、行動の背景となっている物の見方を客観的に把握する。また、患者の安全と安楽に向けてそれぞれの考え方をアップデートする。</p> <p>*多職種協働のためにそれぞれに何が必要かを検討する。</p>
01:00	○まとめ	*取り組み課題を確認する。
	<p>【Ⅱ-4 各職種がそれぞれの高い専門性を十分に発揮するための勤務環境の改善、タスク・シェアリング/タスク・シフティング、チーム医療の推進-⑤】</p> <p>⑤ 看護補助者の更なる活用に係る評価の新設</p> <p>第1 基本的な考え方 看護職員及び看護補助者の業務分担・協働を更に推進する観点から、看護職員及び看護補助者に対してより充実した研修を実施した場合等について、新たな評価を行う。</p> <p>第2 具体的な内容 看護補助者との業務分担・協働に関する看護職員を対象とした研修の実施等、看護補助者の活用に係る十分な体制を整備している場合の評価を新設する。</p>	

※ 講師の判断で一部内容を変更することがあります。